

環境工学本委員会 音環境小委員会 音響数値解析 WG
2004 年度 第 4 回委員会 議事録

日時：2005 年 1 月 11 日（火）13:00～17:00

場所：建築会館会議室

出席者（12 名，敬称略）：

大鶴徹（主査），坂本慎一，佐久間哲哉（以上幹事），大久保朝直，大嶋拓也，河井康人，富来礼次，堀之内吉成，安田洋介，横田考俊（以上委員），小坂慶之，榎本貴之（オブザーバー）

書記：安田洋介

配布資料（7 部）：

資料 4-1：第 4 回委員会議事次第（大鶴）

資料 4-2：第 2 回議事録（案）（安田）

資料 4-3：シンポジウム案（佐久間）

資料 4-4：ベンチマーク問題に関する報告：遮音壁（横田）

資料 4-5：小ホール問題作成案（安田）

資料 4-6：ベンチマーク問題に関する報告：残響室（大嶋）

資料 4-7：東京大学 WS 管理状況（小坂）

● 議事概要

0. 開会にあたって

- ・ 配布資料の確認.
- ・ 前々回（第 2 回）議事録（資料 4-2）の承認.

1. シンポジウムについて

佐久間幹事より，今年度末に開催予定のシンポジウムの粗案についての説明（資料 4-3）. 内容以外に関する決定は以下のとおり.

- ・ 参加費は無料とし，希望者に実費 1,000 円にて資料を頒布する.
- ・ 建築学会と音響学会で別の資料は作らない.
- ・ 配布資料の体裁については，日本建築学会と建築音響研究会で合意しておく必要がある. 建築音響研究会側は資料番号をつける必要があるのみ. シンポ用に 1 冊にまとめる方法もある. 富来委員は日本建築学会側に体裁を確認する.
- ・ シンポジウム終了後，懇親会を行う.

内容に関する決定は以下のとおり.

- 以下のように決定。但し、2～6 では質疑 10 分程度を含む。
 1. 趣旨説明：大鶴徹（大分大学）10 分
 2. 環境音響数値解析技術のための AIJ-BPCA ベンチマークプラットフォーム：（富来礼次（大分大学）・佐久間哲哉（東京大学））20 分
 3. Peter Svensson（ノルウェイ科学技術大学）40 分
 4. Steffen Marburg（ドレスデン工科大学）40 分
—休憩— 20 分
 5. AIJ-BPCA ベンチマーク外部問題群の解析 —基本問題・拡散体・遮音壁の解析事例—：大嶋拓也（新潟大），小坂慶之，佐久間哲哉（東大），大久保朝直，横田考俊（小林理研），堀之内吉成（京都大），榎本貴之（サイバネットシステム）40 分
 6. AIJ-BPCA ベンチマーク内部問題群の解析 —基本問題・小ホール・残響室の解析事例—：安田洋介，坂本慎一（東大生研），横田考俊（小林理研），富来礼次，大鶴徹（大分大），榎本貴之（サイバネットシステム）40 分
 7. 総括：大鶴徹（大分大学）10 分
- 上記 5, 6 に関して，とりまとめ役・問題担当者を以下のとおりとする。問題担当者はメンバーから送付されるデータを基に見開き 2 ページの章としてまとめる。とりまとめ役は問題担当者から送付される章にまえがき及び参考文献リストを加え，提出する。全体で最大 10 ページ。また，問題担当者はシンポジウム当日のプレゼンテーションも担当する。（以下敬称略）
 5. とりまとめ役：大嶋
問題担当者：大嶋（基本問題），小坂（拡散体），大久保（遮音壁）
 6. とりまとめ役：安田
問題担当者：安田（基本問題），横田（小ホール），富来（残響室）
- 上記 5, 6 の内容（フォーマット）は以下のとおりとする。
 - まえがき：問題群の説明，各章の担当者一覧
 - 各章：問題の概要，手法・解析者一覧，結果（精度・効率），考察
 - 参考文献（章ごとに 1 から番号をつける）
- データ提供者は上記フォーマットを踏まえたデータを問題担当者に送付する。また，用いた手法についてのコメントも送付する。
- 問題担当者は，図は EPS 形式で，文章は Word または Tex 形式でとりまとめ役に送付する。
- 最終的な論文のファイル形式は PDF または Word である。
- 計算機は特に統一しない。
- 原稿は日本語でよい。（発表時のパワーポイントのスライドは英語とする。）

- 論文作成のスケジュール

- 1/31：メンバーから問題担当者へのデータ送付の締め切り
- 2/14：問題担当者からとりまとめ役への章の送付の締め切り
- 2/21：論文最終締め切り（17:00 厳守）

2. ベンチマーク問題に関する報告

問題作成案（4-5），解析結果の報告（4-4, 4-6），及びそれに関する議論が行われた．問題群全体に関わる決定は以下のとおり．

- 応用問題における周波数領域の問題内での Task C（音圧分布の算出）は，バンドでの音圧レベルによる評価とする．

3. その他

i) Web サイトについて

富来委員より Web サイトのリニューアル，今後の予定についての説明．決定事項は以下のとおり．

- メンバーはリニューアルされた Web サイトの問題点を 1/21 までに富来委員に報告する．また，各ページに相応しい画像があれば送付する．

ii) 東京大学計算機について

小坂オブザーバーより管理状況の説明．不要なサービスの停止，ジョブ管理ソフトのライセンス更新，OS アップデートについて．

iii) その他決定事項

- ソースプログラムの公開について：Web ページの備考欄に著者への連絡先を示すなどして対処することとする．
- ベンチマーク問題の投稿について：投稿についてはこれを拒まない．但し，当委員会で諮り採択されたものを問題郡に加えることとする．
- 委員の公募について：WG から小委員会への昇格に伴い，建築雑誌にて追加委員の公募を行う．

以上．